

# ベルギーで日本酒PR

本県の「笹の川」「大七」紹介



バイヤーに本県産日本酒をPRした岡田所長(左)

ベルギーで本県産を含む日本酒の魅力を紹介する商談会が現地時間の十四日、ブリュッセル市内のホテルで開かれ、大勢の買い付け担当者らに魅力をアピールした。

一昨年に続く現地商談会で、欧州で人気の高い和食に合う本物の日本酒を紹介しよう―と日本貿易振興機構(ジエトロ)のブリュッセル事務所などが企画。岡田春彦所長(元ジエトロ福島所長)が橋渡し役を担い、本県の「笹の川」(郡山市)「大七」(二本松市)など日本国内で人気の高い銘柄を出展した。

ベルギー国内の名店レストランのシェフ、食材商社をはじめ欧州委員会やベルギー政府の関係者、現地の報道機関から合わせて約八十人を招待した。

岡田所長によると、本県産について、東京電力福島第一原発の影響を懸念する声は出ず、高い品質を評価する声が相次いだという。岡田所長は「日本酒の本当の奥深さ、繊細さをアピールできた」と述べた。

ふくしま経済